



# 竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校  
学校だより  
発行 校長 依田宏記  
令和4年度 第4号  
2022. 10. 18

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

### ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語/算数・数学/英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全体的に見ると全国平均を上回り、一定の学力の定着がみられます。
- ・書くこと・読むことの領域においては、正答率が全国平均より若干低く課題がみられます。
- ・数学は、どの領域においても全国平均より高く、定着がみられます。  
しかし、記述式問題の正答率は低く、無解答率も高い傾向があり課題がみられます。
- ・理科は、すべての領域において全国平均をやや上回っています。一方、記述式問題や、実験結果と考察からより改善された実験を計画するなどの問題で課題がみられます。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

#### ○よい傾向がみとめられる項目

- ・「朝食を毎日食べている。」「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。」などで高い数値を示していることから、規則正しい生活が心がけられていると考えられます。
- ・「将来の夢や目標を持っている。」「人が困っているときは、進んで助けている。」などで高い数値を示していることから、道徳的心情や実践意欲などが育まれていると考えられます。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う。」「友だちと協力するのは楽しい。」などで高い数値を示していることから、良い人間関係を築くことができていると考えられます。
- ・「読書は好き」などで高い数値を示していることから、普段から読書に慣れ親しんでいることが考えられます。

#### ○課題となる項目

- ・「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか。」や「1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をしますか。」の項目において、使用時間が極端に長い傾向にあり、課題がみられます。
- ・「学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。」や「土曜日や日曜日に、どれくらいの時間、勉強をするか。」において、家庭での学習時間が短い傾向にあり、課題がみられます。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・国語の授業の中で様々な記述パターンの問題に慣れさせ、記述への抵抗感を払拭させていきます。
- ・数学の記述式問題には3つのパターンがあるので、それぞれの問題を授業の中に取り入れ、記述の仕方などを練習する場を授業に取り入れていきます。
- ・理科の授業では、実験を行う際に、結果や考察から多面的・総合的に解釈したり、より結果が得られる実験を計画したりするような活動を取り入れていきます。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・携帯電話やスマートフォン、コンピュータ、ゲームの使用、時間を含めた使い方やルールの確認をお願いします。
- ・家庭学習の内容や時間について、生徒が自主的に取り組むことができるよう、家庭内で話し合い声かけをしてください。
- ・家庭でも引き続き、読書に親しむよう促していただくことや、新聞に触れる機会を増やしてください。
- ・将来の夢や進路について、生徒本人の良さを認めながら一緒に考える機会をつくり、進路選択などに結びつくようアドバイスなどの支援をお願いします。